

B-ROCKY2011 レポート

ロッキー恒例のお正月コンペB-ROCKY、今年はBLOC 最終戦が1月16日（日曜）に行われた関係から、1月末29日（土曜）開催としました。会場はロッキー品川店、6カテゴリーを設定、募集定員を120名とし、オーダー発表時には119名のエントリーを数えましたが、最終的に5カテゴリー、105名での開催となりました。直前でのキャンセルの多さは、多分にインフルエンザの影響が大きく関係したものと思われました。

競技形式ですが、ワールドカップと同じベルトコンベア方式で、4分トライ4分レスト。予選決勝共に4課題とし、また競技の進行上予選を2カテゴリーの同時進行としました。そして今年は開会式は無く予選開始1時間前までにチェックインとしました。

朝早くから三々五々集まって来た選手達が思い思いにアップをしている中、先ずは9時30分、<Aコース>の女子ミドル（18名）と<Bコース>の男子マスター（18名）から予選開始。続いて<Aコース>は男子ミドル（20名）と女子オープン（14名）が、<Bコース>は男子オープン（35名）が予選突入。

当初予定していた女子ビギナーは申し込みが少なくやむなく中止とし、ビギナーに申し込まれた選手の方には了解を得たうえで女子ミドルに参加していただきました。結果、女子ミドルは4完登4アテンプトの6名が決勝に、また女子オープンは11名、男子マスターは6名、男子ミドルは9名、男子オープンは8名がそれぞれ決勝に進みました。

決勝は当初の15時30分開始を女子ビギナー決勝開始時間と定めていた為そのままスルーし、順次16時から女子ミドル・男子ミドル・男子マスターと決勝を開始しました。白熱したファイナル、女子ミドルは千葉ジュニアの村井茉莉子が優勝、男子ミドルは西山卓也、男子マスターは山脇一馬がそれぞれ優勝しました。そして18時から大会のメインディッシュ、女子オープン&男子オープン決勝！メンバーは、女子が小田桃花・安田あとり・野中生萌・大場美和・榊原佑子・寿村尚良余・簾内由希・細野かおり・太田理姿・三上智子・増澤明子の11名、男子は茂垣敬太・大山史洋・清水淳・村上理武・尾崎晃一・村井隆一・杉本玲・宮本健太の8名。

それぞれ素晴らしいパフォーマンスを繰り広げてくれて会場は大盛り上がりの中、女子は小田桃花が、男子は茂垣敬太の山口コンビが一步抜き出たクライミングをそれぞれ展開して優勝しました。その後表彰式も終わり、コンペ後の恒例に成りつつあるあきよちゃん（野口啓代）の一本締めで大会を終えた後、こちらは今や恒例となったアフターパーティーも夜を徹して繰り広げられ、一切の束縛から解放されたクライマー達による一時の解放区も出現しました。何はともあれ、クライミングを丸ごと楽しもうというコンセプトの元でのB-ROCKY、参加された皆様には感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。併せて、B-ROCKYに協賛して頂いた<ロストアロー・モンチュラ・パワーナビ・バークハウス>の各企業の皆様にもこの場を借りて御礼申し上げます。

B-ROCKY実行委員長 田村幸雄